

2016年12月2日

日興アイ・アール株式会社

**2016年度 全上場企業ホームページ充実度ランキングを発表**

- 総合ランキングでカプコン、新興市場ランキングでアルトナーが1位 -

日興アイ・アール株式会社(以下、日興アイ・アール)は、「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定した178の客観的な評価項目に基づき、全上場企業3,688社のホームページについて調査を行い、「2016年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」を発表いたしました。

本年度における全上場企業総合ランキングでは株式会社カプコン(東証1部)が初の1位、新興市場ランキングでは株式会社アルトナー(JASDAQ)が2年連続の1位となりました。

このホームページ充実度ランキングは、全上場企業のホームページにおける情報開示の充実度調査と、企業の情報開示に対する意識醸成の促進を目的としており、2003年度に開始して以来、毎年発表を続けており、今年度で14回目となります。

また、調査するホームページの評価項目は、日興アイ・アールが独自の視点で設定し、毎年見直しを行っており、このランキング結果は、株式会社日本経済新聞社の「NEEDS-Cges」(コーポレート・ガバナンス評価システム)の「情報開示・ウェブの充実度」項目における指標判断の一つに採用されています。

**2016年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング 総合ランキング ベスト5**

順位	前回 順位	企業名	総合ポイント
1	(2)	(9697)カプコン	96.2
2	(14)	(6502)東芝	95.8
3	(1)	(6701)日本電気	94.5
4	(17)	(8001)伊藤忠商事	93.2
5	(142)	(7272)ヤマハ発動機	92.6

「2016年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果」の詳細につきましては、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> に掲載しています。

## 2016 年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果について

- ・ 総合ランキングでは株式会社カプコンが初の1位、新興市場ランキングでは株式会社アルトナーが2年連続の1位となりました。
- ・ 評価視点別では、「分かりやすさ」トップに日本電気株式会社、「使いやすさ」トップに株式会社カプコンと株式会社東芝、「情報の多さ」トップに株式会社カプコンがランクインしていました。
- ・ IR情報の掲載状況については、有価証券報告書79.6%(昨年度:75.2%)、コーポレートガバナンス報告書42.8%(昨年度:32.0%)などのIR資料開示率が昨年に引き続き上昇しています。決算関連情報の掲載状況については、決算説明会のプレゼンテーション資料59.1%(昨年度:60.1%)、決算説明会の動画配信15.3%(昨年度:14.0%)、決算説明会の質疑応答5.9%(昨年度:6.2%)となりました。
- ・ 今年度の調査結果においては、昨年のコーポレートガバナンス・コード導入に伴い、ガバナンス関連の項目を中心に急速に対応が進んでいます。コーポレートガバナンス専用ページ48.7%(昨年度:41.1%)、コーポレートガバナンス報告書42.8%(昨年度:32.0%)などの項目に加え、昨年より調査を開始した「株主との建設的な対話を促進するための体制整備・取り組みに関する方針」は7.1%(昨年度:1.8%)、「政策保有株式に関する方針」は3.0%(昨年度:0.4%)と、大きく増加しています。ガバナンス関連項目の対応が充実している企業は、コーポレートガバナンス報告書の内容をHTML化して開示していることが多く、情報量の多い報告書の内容を、できる限り分かりやすく、整理して、掲載するよう努力をする姿勢が見えます。
- ・ 個人投資家向けの情報開示も年々充実しており、専用コンテンツを用意し、自社の特徴・強みや、ビジネスモデルのポイント、株主還元などを整理して、投資家の理解促進を図っています。
- ・ また、IRサイトでは、日本語版サイトと同程度の内容を英語版サイトにも掲載する傾向が強まっています。
- ・ スマートフォン対応については、昨年までと同様に普及が進んでおり、昨年より調査を開始した「日本語版サイトのレスポンシブウェブデザイン対応」は20.2%(昨年度:10.1%)でした。また、今回から新たに調査を開始した「IR主要項目のレスポンシブウェブデザイン対応」は、18.3%でした。
- ・ 一昨年より調査を開始した「統合レポート」については、掲載している企業は3.0%(昨年度:2.6%)と微増となりました。

## 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査概要

### (1) コンセプト

企業ホームページについて、株主、投資家、消費者、取引企業、就職希望者など、企業のステークホルダーが情報を取得し、状況を把握するための要素をどの程度備えているかを調査いたしました。

### (2) 対象企業

全上場企業 3,688 社

(2016年7月1日時点での上場企業とREIT。但し、2016年9月末時点で上場廃止となった企業および東証外国株市場上場企業を除く)

### (3) 調査対象

対象企業のコーポレートサイト(商用サイトを除く)

### (4) 調査期間

2016年7月～2016年9月

(上記期間内でのリニューアル・内容更新が行われた場合、リニューアル・内容更新前の状態で評価している場合があります。)

### (5) 評価項目

今年度は、178の評価項目に基づき調査を行いました。評価項目は、「分かりやすさ」33項目、「使いやすさ」39項目、「情報の多さ」106項目とし、レイアウト・デザイン・文体等の主観的内容は評価の対象外としました。

今後、環境の変化を踏まえ、適宜、評価項目の見直しを行います。

### (6) 評価方法

対象企業のホームページごとに各評価項目の有無を調査し、該当項目をカウントしました。その該当項目数と全体の平均該当項目数で算出した偏差値を各評価項目の評点ポイントとしました。3つの評価項目の評点ポイントを平均したものを総合ポイントとし、総合ランキングを作成しました。

ポイントの目安は、偏差値50超が平均より上、50が平均、50未満が平均未満となります。

1. 総合ランキング ベスト20（同ポイントの場合は銘柄コード順に掲載）

順位	前回 順位	(銘柄コード)企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	(2)	(9697)カプコン	96.2	91.2	100.4	96.9
2	(14)	(6502)東芝	95.8	93.2	100.4	93.7
3	(1)	(6701)日本電気	94.5	95.2	94.7	93.7
4	(17)	(8001)伊藤忠商事	93.2	93.2	94.7	91.8
5	(142)	(7272)ヤマハ発動機	92.6	91.2	98.5	88.0
6	(5)	(9433)KDDI	91.7	89.2	98.5	87.4
7	(4)	(6762)TDK	90.9	91.2	90.8	90.5
8	(6)	(5741)UACJ	90.6	89.2	94.7	88.0
9	(3)	(9984)ソフトバンクグループ	89.9	83.2	92.8	93.7
10	(42)	(8933)エヌ・ティ・ティ都市開発	89.8	89.2	92.8	87.4
11	(12)	(8411)みずほフィナンシャルグループ	89.6	89.2	88.9	90.5
12	(28)	(3738)ティーガイア	88.9	89.2	88.9	88.6
13	(15)	(8566)リコーリース	88.1	89.2	90.8	84.2
14	(23)	(8953)日本リテールファンド投資法人	87.4	87.2	83.2	91.8
15	(11)	(2767)フィールズ	87.0	85.2	90.8	84.8
15	(71)	(2768)双日	87.0	85.2	87.0	88.6
17	(7)	(4902)コニカミノルタ	86.7	83.2	85.1	91.8
18	(8)	(9437)NTTドコモ	86.6	89.2	79.4	91.2
19	(36)	(9432)日本電信電話	86.5	87.2	77.4	95.0
20	(36)	(4516)日本新薬	86.4	89.2	87.0	82.9

・各評価項目中、一番高い評点をハイライトしています。

## 2. 業種別ランキング トップ企業

業種	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
情報・通信業	(9697)カブコン	96.2	91.2	100.4	96.9
電気機器	(6502)東芝	95.8	93.2	100.4	93.7
卸売業	(8001)伊藤忠商事	93.2	93.2	94.7	91.8
輸送用機器	(7272)ヤマハ発動機	92.6	91.2	98.5	88.0
非鉄金属	(5741)UACJ	90.6	89.2	94.7	88.0
不動産業	(8933)エヌ・ティ・ティ都市開発	89.8	89.2	92.8	87.4
銀行業	(8411)みずほフィナンシャルグループ	89.6	89.2	88.9	90.5
その他金融業	(8566)リコーリース	88.1	89.2	90.8	84.2
REIT	(8953)日本リートールファンド投資法人	87.4	87.2	83.2	91.8
医薬品	(4516)日本新薬	86.4	89.2	87.0	82.9
精密機器	(7732)トプコン	86.3	85.2	88.9	84.8
食料品	(2503)キリンホールディングス	85.9	83.2	92.8	81.6
保険業	(8766)東京海上ホールディングス	85.9	85.2	83.2	89.3
機械	(7011)三菱重工業	85.5	87.2	83.2	86.1
鉱業	(1605)国際石油開発帝石	83.9	81.2	85.1	85.5
その他製品	(7966)リンテック	81.8	79.2	85.1	81.0
海運業	(9101)日本郵船	81.8	79.2	79.4	86.7
サービス業	(4751)サイバーエージェント	80.9	79.2	85.1	78.5
水産・農林業	(1332)日本水産	78.8	83.2	77.4	75.9
電気・ガス業	(9501)東京電力ホールディングス	77.5	75.2	79.4	77.8
小売業	(7606)ユナイテッドアローズ	77.1	79.2	79.4	72.7
空運業	(9202)ANA ホールディングス	76.8	77.2	73.6	79.7
石油・石炭製品	(5019)出光興産	75.2	79.2	71.7	74.6
鉄鋼	(5456)朝日工業	75.2	79.2	77.4	68.9
繊維製品	(3002)グンゼ	74.9	73.2	79.4	72.1
陸運業	(9005)東京急行電鉄	74.8	85.2	65.9	73.4
化学	(4901)富士フイルムホールディングス	72.7	73.2	71.7	73.4
ガラス・土石製品	(5202)日本板硝子	71.0	71.2	60.2	81.6
建設業	(1982)日比谷総合設備	70.2	73.2	67.9	69.5
証券・商品先物取引業	(8604)野村ホールディングス	69.9	71.2	64.0	74.6
パルプ・紙	(3863)日本製紙	69.2	61.2	73.6	72.7
金属製品	(5938)LIXIL グループ	68.8	65.2	64.0	77.2
倉庫・運輸関連業	(9370)郵船ロジスティクス	68.8	67.2	73.6	65.7
ゴム製品	(5108)ブリヂストン	68.4	65.2	67.9	72.1

・業種分類は東証 33 業種と REIT となります。

### 3. 新興市場ランキング ベスト5

順位	前回 順位	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	(1)	(2163)アルトナー	79.2	91.2	77.4	68.9
2	(2)	(2178)トライステージ	76.7	69.2	83.2	77.8
3	(8)	(5456)朝日工業	75.2	79.2	77.4	68.9
4	(3)	(6267)ゼネラルパッカー	74.8	81.2	71.7	71.5
5	(7)	(4293)セプテーニ・ホールディングス	71.3	73.2	77.4	63.2

・新興市場は東証マザーズ、JASDAQ、札証アンビシャス、名証セントレックス、福証 Q-Board となります。

この調査は当記載内容を目的として実施しており、投資勧誘を目的としたものではありません。  
また、各企業のホームページは本調査期間以降に変更されている場合があります。  
本調査内容の全ての部分に関する一切の権利は日興アイ・アールに属します。

内容に関するお問い合わせ先:

日興アイ・アール株式会社 コンサルティング営業部

濱田 03-3660-2156 hamada\_masafumi2@nir.nikko.co.jp

岡田 03-3660-2104 okada\_chihiro2@nir.nikko.co.jp

==== 日興アイ・アール 『ホームページ関連サービス』のご案内 =====

1. 『ホームページ比較診断レポート』の提供について

今回の調査結果を踏まえた『ホームページ比較診断レポート』を、上場企業向けに有償にて提供いたします。このレポートを購入いただくと、全上場企業における貴社ホームページの客観的な順位が把握できるとともに、今後のホームページリニューアルのための改善点を効率よく把握することができます。

詳細および申込みは、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> をご覧下さい。

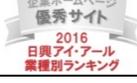
レポートの構成は以下の内容です。

- ・貴社ホームページの評価結果  
(全上場企業における貴社の総合・業種別ランキング結果および各視点別得点など)
- ・約 130 のホームページ評価項目における他社との比較診断  
(ご希望の上場会社 5 社を選択することができます。)
- ・上記のホームページ評価調査における評価項目実施状況  
(時価総額別、業種別の評価項目実施率など)
- ・上場企業全体におけるホームページの動向  
(情報の掲載状況分析、業種別傾向分析など)

2. 『表彰ロゴ』の提供について

今回の調査結果における、ランキング上位企業に、企業ホームページ等に掲載可能な『表彰ロゴ』(英語版も可能)を有償にて提供いたします。

詳細および申込みは、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> をご覧下さい。

表彰項目	ポイントまたは順位	表彰ロゴ	
総合ランキング	総合ポイント 70 以上	最優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 65 以上 70 未満	優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 60 以上 65 未満	優良サイト(総合ランキング)	
業種別ランキング	1 位	最優秀サイト(業種別ランキング)	
	2~5 位	優秀サイト(業種別ランキング)	
新興市場ランキング	1~20 位	最優秀サイト(新興市場ランキング)	
	21 位~50 位	優秀サイト(新興市場ランキング)	
	51 位~100 位	優良サイト(新興市場ランキング)	

3. 『ホームページ改善サービス』-IR サイト制作支援

今回の調査結果を踏まえて、上場企業向けにコンサルティングからサイト制作までをご提供する『ホームページ改善サービス』を実施しています。詳細は日興アイ・アールまでご連絡下さい。